

ベトナム政府の技術革新とエネルギー戦略

2025 年 3 月 10 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム政府の技術革新とエネルギー戦略

ベトナム政府は、技術革新とエネルギー分野の発展を加速するため、低軌道衛星（LEO）通信ネットワークの試験導入、ニントゥアン原子力発電プロジェクトの再開、科学技術研究の特別支援政策を決定した。これらの措置は、ベトナム国内の技術力向上、ベトナムのエネルギー安全保障強化、デジタルインフラの発展を目的としている。

ベトナム政府は、低軌道衛星通信を 2025～2030 年の国家デジタルインフラ発展計画の一環として、最大 5 年間の試験運用を実施する。これにより、ベトナム国内の通信格差を解消し、デジタル経済を推進する狙いがある。試験運用では、ベトナム企業が周波数帯を柔軟に活用できるようになり、許認可手続きを簡素化することで、コスト削減や迅速な事業展開が可能となる。また、ベトナム国防省とベトナム公安省が監督し、国家安全保障や情報保護を強化する。

エネルギー分野では、ベトナム国内の電力需要増加と環境対策のため、ベトナム政府はニントゥアン原子力発電所の建設を再開する。2035 年までにベトナム国内の電力需要は 5000 億 kWh を超えると予測されており、石炭火力発電からの脱却と脱炭素化が喫緊の課題となっている。ベトナム政府は、投資家との交渉や資金調達を促進し、プロジェクトの円滑な進行を支援する特別措置を導入する。また、安全対策の徹底と汚職防止を目的とし、ベトナム政府機関による厳格な監督が求められる。

さらに、ベトナム国内の科学技術研究の支援策として、ベトナム政府は研究プロジェクトが期待通りの成果を上げられなかった場合でも、研究者が資金を返還する必要のない制度を導入する。これにより、研究リスクを軽減し、ベトナム国内の科学者が新技術の開発に積極的に取り組める環境を整える。また、公的研究機関やベトナム企業が研究成果を市場に提供できるよう、企業設立を可能にする仕組みも導入される。

これらの政策により、ベトナム国内の技術革新が加速し、持続可能な経済成長の基盤が構築されることが期待される。

以上